

永田町新潮流 平沢勝栄



先の通常国会で、自民党は、財務省の決裁文書改竄(かいざん)など、多くの問題で国民の皆さまから厳しいご批判を受けた。ただ、なかには、的外れといえる批判も少なからず含まれていた。

自民党総裁選

「長期安定政権」

英国の旧日本大使館は高級住宅街にあったが、その隣は高級カジノだった。そのカジノは、見ているだけで楽しい上流階級の遊び場だった。私は、日本からの訪問客をよく案内したが、国内外

例えば、一部野党が反対するカジノを含む統合型リゾート施設(IR)は、観光産業発展に資するとして、超党派のIR議連が長く推進してきた。この議連には、共産党と社民党を除く二百数十人の与野党議員が参加している。

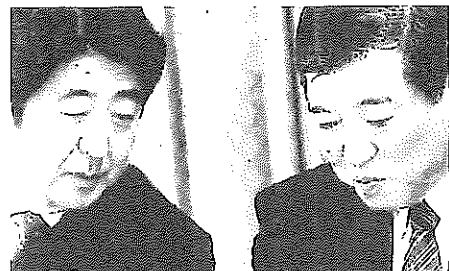
カジノは、国が運営するのではない。自治体の申請に基づき、国が認定

カジノは、国が運営するのではない。自治体の申請に基づき、国が認定

が国益にかなう

室伏氏は、著書「カジノ新ビジネスが日本を救う」(2002年)のなかで、「これからは、ものつくりの時代から楽しい時間消費の時代に移っていくが、そうした中でカジノは税収が増え、治

自民党総裁選での一騎打ちが見込まれている安倍首相(左)と石破茂元幹事長



める首脳も多い。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領も、通算20年に達する見通しだ。中国の習近平国家主席は、連続2期10年までとする任期制を撤廃し、終身「主席」になるといわれる。

一方、日本では、これまで首相がめまぐるしく変わってきた。その結果、国益は大きく損なわれたといえよう。安倍晋三首相は平成に入って17人目で、2012年12月に第2次政権がスタートし、5年半を超えた。長期安定強力政権を作ることは、特に外交交渉を有利に運ぶうえで不可欠である。この点も十分に踏まえながら、新総裁を選んできたい。

期総裁は、わが国の首相を務める。諸外国の首脳の任期は日本に比べ、格段に長い。米国は通常、2期8年だ。欧州では、ドイツのアンゲラ・メルケル首相をはじめ、10年以上務

(自民党衆院議員)